



～若き心 集まるところ～

No.10

全ての台中生の『心の笑顔』と『成長』のために

しんねん あ

新年明けましておめでとうございます！

冬休みが終わり、今日から学校が再開しました。冬休み前の最終日の集会では、12月の人権講演会をはじめ、様々な場面で生徒たちに伝えてきた『多様性』に関連して、「普通って何？」という話をしました。

12月24日 全校集会 校長の話（抜粋）

今日は、「普通」という言葉について考えてほしいと思います。皆さんにとって「普通」とは何ですか？

「普通」は、一人一人の経験に基づいて、その人が「当たり前」であると思うことであり、誰にとっても同じ「普通」など存在しません。台中では普通でも、他の学校ではそうではないこともあります。日本では普通でも、他の国ではそうではないことは、さらにたくさんあります。その違いがあること、それぞれの「普通」があること、どの「普通」も同じように価値があることを理解すると、他の人との出会いや関わりが楽しくなるかもしれません。

「普通はこうするでしょ」という言葉は、時には誰かを傷つけます。皆さんには、自分の物差しだけで判断せず、相手の「普通」を想像する優しさをもってほしいと思います。

今日の話は、「普通」という言葉がよくないと言っているわけではありません。誰もがたくさんの違いがあることが、「世の中の当たり前」、「普通のことだ」と考えていくことができればよいと思います。

先日の講演会で、坂井先生は自信をもって「私は変です」と言っていました。その言葉の裏には、「だから何？私は私、何がいけないの？」そして、「皆さん一人一人も、『あなたはあなた』、互いの「普通」と「違い」なんて気にせず、一緒に生きていきたい」という意味が込められていたのではと思っています。

皆さんには、それぞれにしかない良さがあります。お互いにたくさんの共通点もあります。共通点は、「安心感」や「所属感」を生み出します。一方、「違い」は、「不安」や、時には「恐怖感」すらもたらすこともあります。

しかし、「違いはあって当たり前」、「自分との違いにたくさん出会うことが自分を高め、優しい人になれる」ことをわかっていれば、その「不安」は、「楽しみ」に変わります。たくさんの共通点で繋がりが安心しながらも、お互いの違いをたくさん見つけて、その違いがあることを楽しむ・・・明日から約2週間の冬休みを経て始まる1月7日に向けて、一人一人がそんな気持ちでスタートができるよう準備をしてきてください。

残り2ヶ月とわずかで3年生はそれぞれの進路へ、1、2年生は次のステージに向かっていきます。これからも様々な学びを通して、台中生一人一人が、自分だけでなく、周囲の人たちも大切にしながら、『心の笑顔』をもち続け、『優しく、かっこいい大人』になれるよう、成長していったほしいと思いながら新たな年を迎えました！

今年も引き続き、全ての台中生の『心の笑顔』と『成長』のため、教職員一同、全力で取り組んでまいりますので、本校の教育活動にご理解・ご協力いただけますようお願い申し上げます。



令和7年度 全国学力・学習状況調査 回答結果の分析について

令和7年4月16・17日、中学校3年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果について、分析の概要をまとめましたので、後日、学校HPにてご覧いただけるようになります。本調査の捉え方や目的等と併せて、本校の傾向、及び分析等を示すとともに、本結果・分析を踏まえて、「学校が重点的に取り組んでいくこと」、「生徒に取り組んでほしいこと」、「保護者の皆様にご協力していただきたいこと」を示しましたのでご一読ください。



年末恒例 “7組クリスマスコンサート”！

12月23日（火）昼休み、今年度も7組生徒によるXmasコンサートが開催されました。昨年度は南棟オープンスペースに入れないほどの大盛況だったため、急遽会場を体育館に変更しました。120名を超える生徒が続々と集まってきて、横川先生の合図で、7組の生徒がステージで演奏し、一日早いクリスマス気分と集まったたくさんの生徒たちの笑顔をお届けしてくれました！

たがひ画像
えぼし麻呂とミナ

今年もやりました、“台中スポーツフェス2025”！

12月26日（金）、昨年度に引き続き、台中スポーツフェスを開催しました。前日の雨から当日は快晴！「台中生の心の笑顔のために！」と、学校運営協議会（コミュニティスクール）、香川小学校区推進協、保護者会をはじめとした地域の方々のご理解と多大なるご協力により、当日は多くの台中生と教職員の素敵な笑顔を見ることができました！ご協力いただいた皆様に心から感謝します。

朝の開会式のあと、ソフトテニス部、ソフトボール部、野球部、サッカー部と熱い戦いが続きました。体育館では、3年生や運動部以外の生徒も参加できるようボッチャを行いました。ロータリーでは円蔵消防団の方に消防車で来ていただき、乗車体験もできました。そして昼は、保護者会・地域の方々と家庭部の皆さんに前日の準備から当日の早い時間から用意していただいた豚汁をいただきました。

昼食後は、生徒会本部役員によるビンゴ大会に続き、ロータリーで吹奏楽部の屋外コンサート♪昨年度に続き、素敵な演奏を披露してくれ、特に終盤の盛り上がりは、吹奏楽部と聴衆との一体感が強く感じられました。

午後は、昨年度工事のため使用できなかった体育館で、剣道部、卓球部、バレー部、バスケット部と対決は続き、今年度は、4勝2敗1分けて教職員チームの勝利となりました！ちなみに卓球部は、実力の差がありすぎるため、生徒は“スリッパラケット”というハンデ戦のエキシビションでしたが、スリッパを巧みに操る卓球部員に教職員チームは苦戦していました。

地域の方々と一緒に豚汁作りや配膳をしてくれた家庭部、素敵なポスターを作成してくれた美術部、渡りに掲示する看板を書いてくれた書道部・・・運動部だけでなく、多くの生徒の参加がイベントの成功に繋がった一日でした。（写真は校内に掲示しますのでご来校の際、是非ご覧ください）

HP用・校外掲示用は写真を加工しています。



教頭先生のつぶやき・・・

皆さんは、「こんな寒い日に冷たい牛乳をなぜ飲まなきゃいけないの？」と考えたことはありませんか？昔から牛乳飲むと「骨が伸びる」や「骨が強くなる」などと言われてきましたが、先日、茅ヶ崎市の給食を担当していただいている栄養士の方と話す機会があり、相談したところ、なるほどと思うことがあったのでお伝えします。実は日本人の多くが慢性的なカルシウム不足に陥っており、1日あたり、男性750～800mg、女性600～650mgが必要とされているなかで、実際には、500mg程しか摂取できておらず、多くの日本人が不足しているようです。カルシウムは骨や歯の健康を保つためだけでなく、筋肉や神経の働きにも欠かせない栄養素です。世界と比べると、欧米諸国などでは、平均1000～1200mgと日本の2倍を上回るレベルで、日本人は半分ほどしか摂取していないということになります。成長期の皆さんに必要な栄養素を採るためにも、お薬だと思って牛乳を飲んでみませんか？